



栗嶋宮（於幾）の御神木

「猛烈な風」屋根がハウスが電線が： 台風21号直撃

戦後最大級の強さといわれ、銚子气象台では観測史上最大、瞬間風速52.2mという猛烈な風を伴って10月1日県内を北上した台風21号。横芝町でも、家屋や、多くの農作物にも被害が及びました。

1日夜8時頃には、町の多くの地域で停電し、一部の地域では27時間もの長時間にわたり停電が続きました。

強風は、夜9時頃が最も強く、その被害の大きさは、空が次第に明るくなるに連れ、次々と目の前に飛び込んできました。

千葉県東部地域は特に大きな被害が発生し、佐原・旭市では、切れた電線に接触し2名が死亡するなど、被害は想像を絶するものがありました。

大きな爪あとを残した台風21号、改めて自然の持つ強大なパワーに恐怖を覚えました。

〈風と被害〉

風速10m/s	かさがさせない
風速15m/s	看板やトタンが飛びはじめる
風速20m/s	小枝が折れる
風速25m/s	瓦が飛びTVアンテナが倒れる
風速30m/s	雨戸がはずれ、家が倒れることもある

〈台風の強さと階級わけ〉

階級	最大風速
強い	33m/s~44m/s
非常に強い	44m/s~54m/s
猛烈な	54m/s以上

キウイフルーツの剪定

普及センターだより

家庭果樹として定着した感のあるキウイフルーツ。大きな実を付けるには冬の剪定が欠かせません。

●剪定時期

【12月下旬から2月上旬】

キウイフルーツは2月の中旬には樹液が流れ始めます。樹液が流れる前に枝の切り口が乾くように2月上旬には剪定を終えるようになります。

●剪定位置

キウイフルーツの枝は、芯の髓が大きくて柔かく、乾燥して枯れ込みやすいので、剪定は、ブドウと同じように芽と芽の中間を切り、枯れ込みを防ぎます。

●実をならせる枝を決める
キウイフルーツは、放っておくと多数の枝（蔓）が出て絡まり合います。良い実ができなくなり、栽培に当たっては幹になる枝（蔓）を決め、実のなる枝を左右に配置します。枝の間隔は左右それぞれ30〜40cmとします。

山武農業改良普及センター
☎ 0475-5410227

前年実をならせた枝では、実の付いた節からは花芽のある新芽がでません。そのため実のなる位置

図 キウイフルーツの実のなり方

